

みゆきもりてんじんぐう
13. 御幸森天神宮



◆所在地

生野区桃谷3丁目10番5号

◆概要

仁徳天皇・少彦名命・押坂彦命を主祭神としている。今から約1600年前の猪飼野は猪甘津と呼ばれ難波の入江の港であり、猪甘部(猪を飼育していた古代の官職。鷹甘部などと同じ)が住まわれていました。また当時、川辺にあった灯明台1基が今も残されている。難波に都を定められた仁徳天皇は鷹狩の折り等に度々当地の森にご休憩され、その由縁により御幸の森と呼ばれるようになった旨が社頭に立てられた由来碑に刻まれている。境内にある5本のムクノキ(椋)の老樹は『まちの貴重な緑をみんなで守っていこう』との願いから、市の保存樹林に指定されている。

あんせんじ
14. 安泉寺



◆所在地

生野区桃谷3丁目16番26号

◆概要

創建年代不詳。古来村の念仏道場であったものが、徳川時代初期の寛文7年(1667年)に真宗大谷派末寺となった猪飼村固有の寺。村の中央部、鶴の橋60m北東にある。安泉寺は、徳川時代、村内の戸籍を預かり、寺小屋を開設していた。明治5年(1872年)に猪飼野小学校となり、明治20年(1887年)に平野川対岸の木野村小学校(宗玄寺も開設)と合併して、鶴嘴尋常小学校が建設されるまで村内の子供たちの教育にあたって来ました。現在の本堂と庫裡と併せて大正14年(1925年)春、住職檀信徒協力して全面的に改築したもので、南面を西面本瓦葺に変え、太鼓楼を廃し、鐘桜門とし、井戸屋型手洗所を附属した、鐘桜門は木村権右衛門氏の寄贈による。平成6年(1994年)に至って、境内南西隅にあった猪飼野野中会館を、村内南50mの場所に移築し、老朽化した庫裡を廃し両跡地に安泉寺門戸会館と庫裡を新築し、本堂の全面補修を実施した。



15. つるのはし跡公園



◆所在地

生野区桃谷3丁目17番

◆概要

昔、このあたりに鶴が多数飛来したことから橋の名となったようである。一説には、西暦323年に百済川に架設された橋で猪甘津橋の古跡ともいわれ、『日本書紀』仁徳天皇14年11月の条に『猪甘津に橋を為(わた)す。即ち、そのところを号けて小橋^{なす}という』と記され、文献にでている橋ではわが国最古のものといわれている。『つるのはし』は、旧桃谷街道・鶴橋街道が旧平野川を渡る地点に架けられ、古くは河内・大和への交通の要所。新平野川の開削により、昭和15年(1940年)に廃橋、石碑と当時の親柱4本を記念に保存し、平成10年(1998年)3月に『つるのはし跡公園』として開設された。

16. 旧猪飼野村にある旧家・大東邸



◆所在地

生野区桃谷3丁目19番2号

◆概要

旧家「大東邸」は、土蔵の外壁材は古い船板を使っており、300坪以上ある屋敷内には広大な庭園や古い石柵の井戸が現存し、母屋の中(昔の土間)にある井戸は現在も散水用などに使用しているという。昔の面影を残す旧家の大きいものがこれまでに多く解体され、旧猪飼野村(現在の鶴橋)では現存するものは珍しい。

